

■質 疑 内 容

【一関市総合体育館会場】

- Q 現在、返礼品事業者として登録済みである。登録済みでもこの申込書を提出するのか。
A 改めて提出をお願いしたい。
- Q 随時返礼品を受付けるとの説明だったが、この様式を毎回書いて提出するのか
A 追加して返礼品を申し込む場合は、毎回提出となる。
- Q 申込み時に画像データをCDで提出と説明を受けたが、メールでは受け付けないのか。
A 市のメール受信（セキュリティ）設定の関係で容量の大きいものや圧縮ファイルを受信できない場合があるので、CD等で提出をお願いする。
- Q 1月に返礼品をリニューアルするために、今回募集するということがあったが、その後の随時募集期間終了後は、再度返礼品を応募（提出）するということか。
A 1～3月を第1弾のリニューアルとして公開し、その後は寄附額区分などを改めて再度募集するが、第1弾で公開したものは、変更がない場合は、そのままとなる。
- Q 農産物は、季節限定で収穫されるものもあるが、そのような品物の取り扱いはどうするのか。
A 提供できる期間や数量を明記していただければ採用する。
- Q 送料が高くなり苦慮しているが、高くなっても市で送料を負担するのか。
A 市で負担する（制度が変わらない限りは）。
- Q 返礼品に同梱するお礼状などについて、統一した様式などを検討してほしい。
Q 統一様式があることで、逆に手間となることも想定される。（別な人の意見）
A お礼状は寄附証明書を合わせて市から寄附者に送っており、随時発送にあらためたことから、お礼状と返礼品は概ね同じ頃に到着していると思われる。（年に3回発送の場合は、別途市からの文書の同梱をお願いしていた）
利用したい方が使えるテンプレートを用意するなど、持ち帰り検討して回答する。
- Q 返礼品は市が送るのか。
A 事業者様から寄附者に送っていただく。（送り主の名義は一関市）
- Q 申請後、どのようにポータルサイトに掲載となったか確認する方法は。
A サイトに掲載後、確認いただきたい。（修正は受け付ける）
- Q 送り主は一関市で発送するとの説明を受けたが依頼主と送り先が異なる（贈答品扱いなど）場合、送り状にどのように明記したらよいのか。
A 持ち帰り検討して回答する。

【東山会場】

- Q 今まで市に要望しても「市では力を入れていない」と言われれきたが、なぜ、この時期にリニューアルをすることとなったのか。
- A 当課では、ふるさと納税とは別に、市に移住者を増やす事業や一関市ファンを増やす事業なども担当しており、力を入れている。
ふるさと納税についても、まさに一関市の魅力を発信し、一関市のファンを増やす事業であるため、他市に比べて遅くなったのは、そのとおりであるが、今年度から見直すこととなった。
この時期となったのは、手続き等により現在に至ったことと、寄附金控除の対象となる期間が1月から12月となっており、寄附者の視点で考え、控除対象の期間が変わる1月からのリニューアルとしたもの。
- Q 寄附者は自治体での検索よりも、カテゴリー（商品）で選ぶのが実情だと思う。商品名のキャッチコピーなどが重要と考えるが、商品名として登録できる文字数は何文字までとなるか。
- A 商品名の欄には文字制限があり、全角で26文字までとなっている。
また、自治体での統一感が必要なこと、処理システムと連携している関係などもあることから、まずは通常の商品名での掲載を考えている。
商品の説明文の方では、過剰な表現でなければ、積極的にキャッチコピー等をつけていただきたい。
商品名と併せて、キャッチコピーなどを提案いただいてもよいが、個別に相談させていただく。
- Q 寄附を受け付けた後、すぐに発送依頼（FAX）をしているのか。
- A 申込状況を毎朝確認し、寄附申込があった場合は、すぐに発送依頼をしている。
- Q 現在の寄附額は、どの金額が多いのか。
- A 現在は1万円の設定しかないのですが、1万円の寄附が多いが、中には5万円、10万円、高額寄附者では100万円もある。
他市の事例では設定している、返礼品や寄附額区分にもよるが、2～3万円の寄附が多いようである。